

全国助産師教育協議会 会員校・個人会員の皆様

全国助産師教育協議会  
組織強化委員会

## 助産師教員キャリアラダー認証制度構築に向けた調査のお願い

### 1. はじめに

日本助産評価機構による CLoCMiP レベルⅢの「アドバンス助産師」の認証の更新について、2021年からは「教員」区分の申請は行われなかったこととなりました。その対策として、全国助産師教育協議会（以降は全助協）は将来ビジョンの1つとして助産師教員の教育力の向上・保証を図るために、全助協が作成する「助産師教員キャリアラダー」に基づき、助産師教員の教育力を保証するためのキャリアラダー認証制度の設立を進めることが理事会で決定しました。そのため、2012年に調査された「助産師教員の必須能力の標準レベルの到達年数デルファイ調査」を基に、助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）、看護師および保健師教員ラダー等を参考に作成した調査票を用いて、現代の「助産師教員キャリアラダー」の各レベルに必要な能力を明らかにします。全助協の組織強化委員会は、会員校・個人会員の助産師教員への調査と調査結果の公表を行います。今回の実施にあたっては、全助協理事会の承認後に、日本赤十字九州国際看護大学研究倫理審査委員会の審査を経て、許可を受けています。（承認番号 22-016）  
施設責任者は、同施設の他の助産師教員へ本メールと添付の調査項目の転送を宜しくお願い申し上げます。

### 2. 研究の目的・意義と対象者について

本研究の目的は、以下の3つを明らかにすることです。

- ① 全助協の会員校・個人会員の教育経験が豊富な教授、教務主任など管理職の助産師教員を対象に、助産師教員に必要と考えられる能力（教育能力・臨床能力・研究能力・管理能力）が標準のレベルに到達する年数について明らかにします。
- ② 全助協の会員校・個人会員の教育経験を積んでおられる助教、講師、准教授、専任教員の助産師教員を対象に、助産師教員に必要と考えられる能力（教育能力・臨床能力・研究能力・管理能力）を助産師教員自身がどのように認識しているかを明らかにします。
- ③ 上記①②の全助協の会員校・個人会員の全助産師教員を対象に、認証するレベル、認証機関、更新制度についての考えを明らかにします。

研究の意義として目的③より助産師教員キャリアラダー認証の認定レベルの決定を行い、目的①より認証するレベルに必要な能力を検討し、目的②より認証するレベルに必要な研修について提案できます。

### 3. 研究の方法について

- 1) 調査期間：2022年8月16日から2022年9月30日まで
- 2) 調査方法：無記名で入力する Questant サイトを利用した Web による質問調査（質問内容は資料参照）
  - ①以下の各職位の研究同意サイトに入っただき、研究に対する同意の有無を教えてください。
  - ②同意いただいた場合、無記名で、お1人1回、約20分程度で回答できる質問に回答してください。
  - ③最後に送信を押して提出してください。

【教授、教務主任など管理職を対象とした調査】

<https://questant.jp/q/TWKKF5FN>



【助教、講師、准教授、専任教員を対象とした調査】

<https://questant.jp/q/1VDRW0G2>



#### 4. 予測される利益と負担について

- ・施設名や氏名等の個人情報を記載することはありません。
- ・対象者は調査に協力することによる直接的な利益はありません。
- ・時間的拘束として、インターネットへの接続時間をできるだけ短縮できるよう設計しました。多項目のアンケートへの回答ですが、事前に添付の調査項目をご確認いただけますと、時間を短縮できます。負担が最小限となるように、回答中に進捗バーを設定し、負担感軽減に努めました。施設内の安定したネット環境の使用とPCでの回答を推奨します。回答途中で回答を中断することも可能です。

#### 5. 費用の負担について

研究参加にかかる通信費は自己負担とします。

#### 6. 研究参加の任意性と同意撤回の自由について

この研究への参加はあなたの自由な意思で決めてください。同意されなくても、あなたが、不利益を被ることは全くありません。調査のサイトの冒頭で研究に同意するか、同意しないかを自由意思により選択してください。同意する場合のみ、調査に回答できるサイトへ移動するように設定しています。入力後にデータを提出して良いと思われましたら、最後に送信ボタンを押してください。また、同意後にも途中で回答を中断することができます。入力した内容を提出したくない場合は、送信ボタンを押さないでください。但し、送信後は撤回ができません。

#### 7. 情報の取扱いについて

研究目的以外に使用いたしません。会員校・個人会員の助産師教員を対象としますが、無記名の調査であるため、個人を特定できません。入力した内容を送信時にメールアドレスなどの個人情報を取得できない設定にしています。

#### 8. 情報の保管及び廃棄について

- ・調査期間終了後に調査結果(集計表)をQuestantのサイトよりCSV形式でダウンロードし、共同研究者間で、GakuNinRDM上で共有します。共有にあたっては、データが流失しないよう、アカウントの管理とパスワードの管理を厳格に行います。別のアカウントにログインする際には該当のアカウントのログアウトをするなど細心の注意を図ります。
- ・倫理審査承認を研究責任者が受けた後に、共同研究者にパスワードをかけた書類をメール添付にて送付し、研究責任者と共同研究者は承認された方法を厳守し実施します。また、調査結果(統計表)は、GakuNinRDMで共有し、報告日から10年間まで保存し、その後はデータを完全に消去します。

### 9. この研究の費用と利益相反について

本調査は、全助協より組織強化委員会が委託されて行う調査であり、研究結果は全助協ご帰属します。この調査に関する必要な費用は、全助協から支払われます。他に、研究遂行にあたって利益相反状態にはありません。

### 10. 研究に関する情報公開の方法について

本研究結果は、全助協の報告書、学会発表、論文発表にて情報公開を行います。調査報告書は、全助協の HP 内で閲覧可能とします。

### 11. 研究を中止する場合について

研究責任者の判断により、研究を中止しなければならない何らかの事情が発生した場合には、この研究を中止する場合があります。研究期間中に、変更、中断・中止がある場合は速やかに報告します。

### 12. 相談窓口について 研究に関して、ご質問や相談等ある場合は、下記の研究責任者までご連絡ください。

研究責任者: 全国助産師教育協議会 組織強化委員会理事 永松美雪

日本赤十字九州国際看護大学大学院看護学研究科修士課程 助産 教授

福岡県宗像市アスティ 1 丁目 1 番地 0940-35-7072 (直通) m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp